

別府大学 創設60周年記念

書道展

— 卒業生の作品も展示いたします —

会場 大分市アートプラザ

会期 平成22年5月10日(月)~16日(日)

主催 別府大学文学部国際言語・文化学科 / 別府大学書道研究室

後援 大分県 / 大分県教育委員会 / 大分市 / 別府市 / 大分合同新聞社 / NHK大分放送局 / OBS大分放送 / TOSテレビ大分 / OAB大分朝日放送 / エフエム大分 / OCT大分ケーブルテレコム



併催 《記念講演会》

別府大学創設60周年を記念して開催される別府大学書道作品展。
この作品展にあわせて様々な角度から書道を見つめていく講演会であります。

日時 平成22年5月15日(土) 10時~15時
会場 別府大学 メディア教育・研究センター4階
入場料 無料

- 10:00~10:50 [講師] 別府大学教授
友永 植 『唐の高祖と太宗』
- 10:50~11:40 [講師] 別府大学教授
荒金 大琳 『書の原石にふれる』 — 西嶽華山廟碑と雁塔聖教序 —
- 11:40~12:10 [講師] 大分県立大分舞鶴高等学校教諭 別府大学文学部卒
舩添 真一 『別府大学の書道と高校書道教育について』
- 13:00~14:00 [招待講師] 中国文化遺産研究所・研究員
胡 平生 『ユーモアのある木簡について』
*通訳: 荒金 治 (別府大学非常勤講師)
- 14:00~15:00 [招待講師] 日展会員
河野 隆 『二世中村蘭台の篆刻』 — 老子語印五十顆 —

お問い合わせ

●別府大学
〒874-8501 大分県別府市北石垣82
☎0977-67-0101 内線208(書道研究室)

●別府大学書道担当
荒金大琳(☎090-4778-8559)



書道専攻

書くことが好きな人

書の造形は美学に通ず

書のリズムは音楽に通ず

書によって

いつもコミュニケーションはとられてきた

書は公文書にとつて
重要なものであった

書はその時代の
情報でもあった

書は歴史の中で
生きてきた

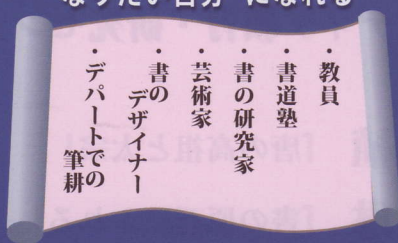
書は文学であり
古典が大切となる

王羲之の書の研究においては

医学的考察は必要になる

書を学ぶ時、政治的裏づけの理解は必修になる

“なりたい自分”になれる



書くことが苦手でも

書を観ることが好きな人



ここからはじまる